

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 手足口病

定点当たり4.09人の報告があり、増加が続いています。手足口病は、口の中や手足などに水疱性の発疹が出るウイルス性の感染症です。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染です。例年夏季に増える傾向があり、乳幼児が集団で生活する保育園や幼稚園などでは、特に注意が必要です。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 感染性胃腸炎

定点当たり6.73人の報告があり、多い状況です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を心がけましょう。

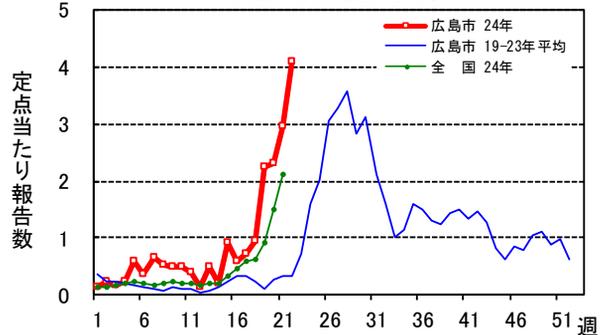
3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.91人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

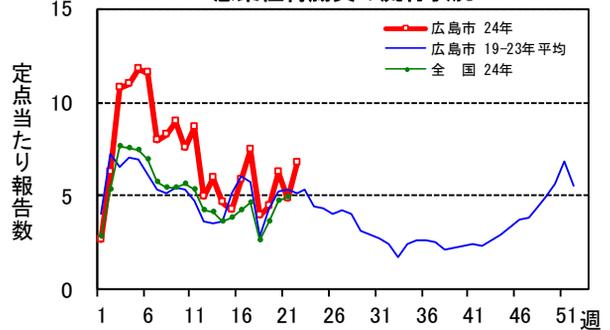
4 レジオネラ症

2件の報告がありました。(次ページ参照)

手足口病の流行状況



感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号		
インフル	インフルエンザ	6	0.17	0.41	→	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.18	0.34	→		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	67	1.91				流行性耳下腺炎	-	-	0.09			
小児科	RSウイルス感染症	20	0.91	1.11	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	→		
	咽頭結膜熱	14	0.64	0.49			流行性角結膜炎	13	1.63	0.18			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	3.05	1.59			→	基幹	細菌性髄膜炎	-		-	0.03
	感染性胃腸炎	148	6.73	5.17					無菌性髄膜炎	1		0.14	0.03
	水痘	5	0.23	0.13			↓	マイコプラズマ肺炎	-	-		0.03	
	手足口病	90	4.09	0.34				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-		-	
	伝染性紅斑	-	-	0.05			→	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-		0.09	
	突発性発しん	8	0.36	0.46									

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

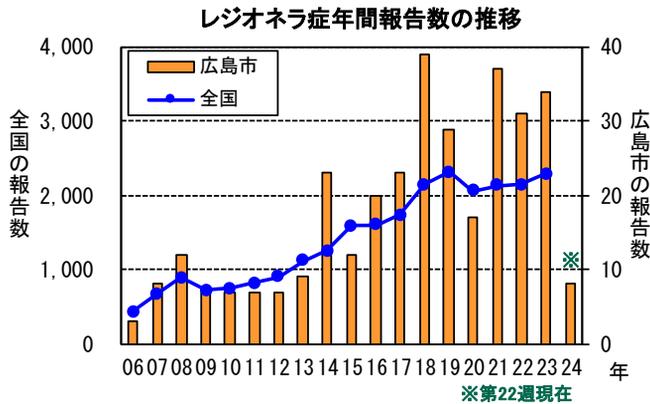
■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	43	40歳代・2人
4	レジオネラ症	2	8	70歳代、80歳代
5	梅毒	2	55	30歳代、50歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	4	70歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	(C O V I D - 1 9)																					
		インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎		
報告数	第18週	6	55	28	8	33	86	2	21	-	5	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
	第19週	4	51	22	10	59	97	9	49	-	8	2	1	-	14	-	-	4	-	-	1	-	
	第20週	4	60	29	12	90	137	3	51	-	2	2	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	
	第21週	2	69	22	19	105	107	17	65	6	5	5	1	-	9	-	-	2	-	-	2	-	
	第22週	6	67	20	14	67	148	5	90	-	8	4	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	
定点当たり	第18週	0.18	1.62	1.27	0.36	1.50	3.91	0.09	0.95	-	0.23	-	-	-	2.38	-	-	-	-	-	-	-	
	第19週	0.11	1.46	1.00	0.45	2.68	4.41	0.41	2.23	-	0.36	0.09	0.05	-	1.75	-	-	0.57	-	-	0.14	-	
	第20週	0.11	1.71	1.32	0.55	4.09	6.23	0.14	2.32	-	0.09	0.09	0.09	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	
	第21週	0.06	1.97	1.00	0.86	4.77	4.86	0.77	2.95	0.27	0.23	0.23	0.05	-	1.13	-	-	0.29	-	-	0.29	-	
	第22週	0.17	1.91	0.91	0.64	3.05	6.73	0.23	4.09	-	0.36	0.18	-	-	1.63	-	0.14	-	-	-	-	-	
全国	第20週	0.28	3.28	1.38	0.71	4.91	4.77	0.16	1.49	0.04	0.32	0.23	0.06	0.01	0.72	0.02	0.04	0.17	-	-	0.02	-	
	第21週	0.24	3.35	1.51	0.83	5.03	4.94	0.22	2.13	0.06	0.32	0.28	0.07	0.05	0.67	0.01	0.01	0.28	-	-	0.02	-	

【参考】広島市におけるレジオネラ症の発生動向について



【参考】レジオネラ症Q&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html



今年の累計報告数は第22週で8件(昨年同時期:10件)となりました。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)の吸入などによって感染する細菌感染症です。

病型の一つであるレジオネラ肺炎は、2~10日の潜伏期間の後、咳、38℃以上の高熱、悪寒、胸痛、呼吸困難などの症状が出現し、適切な治療がなされなかった場合には命にかかわることもあります。高齢者や新生児、免疫機能が低下している人は、肺炎を起こす危険性が高く、特に注意が必要です。

国内では、循環式浴槽、加湿器、冷却塔、入浴施設などによる感染事例の報告があります。これらの維持管理を適切に行い、レジオネラ属菌の繁殖を防ぐことが大切です。また、土ぼこりを吸い込んで感染することもあるため、必要に応じてマスクを着用しましょう。

お知らせ

広島市感染症発生動向調査事業報告書 第41号(令和4年)をホームページに掲載しました。

下記ホームページをご覧ください。

広島市感染症発生動向調査事業について(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease-joho/300.html>

【事業報告書に関する問い合わせ先】健康福祉局保健部健康推進課保健予防係(電話:082-504-2882)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp